

めぐって楽しい4つのお堂

左の写真はどこのお堂の写真でしょうか？
番号とイラストを線で結んでみましょう！

※答えは「唐人屋敷Q&A」の下にあります。

お堂の中は自由にご覧いただけます。探してみましょう。



1



とじんどう
土神堂



2



てんこうどう
天后堂



3



かんのんどう
観音堂



4



ふっけんかいかんてんこうどう
福建会館天后堂

至湊公園・新地中華街 (徒歩3分)

唐人屋敷 象徴門 (大門)

岩永市場

十善寺地区まちづくり情報センター
※ご自由にお入りいただけます。

蔵の資料館

土神堂

福建会館 天后堂

観音堂

天后堂

緑ヶ丘 保育所

天后堂前 広場

十善寺地区 コミュニティ 住宅

4堂巡りおすすめルート

音声ガイドでも唐人屋敷跡をお楽しみください。

お問合わせ
長崎市まちなか事業推進室
TEL.095-829-1178

MAP

ようこそ!
長 熱 烈 歓 迎 崎
唐人屋敷跡へ
めぐって楽しい
4つのお堂

めぐって楽しい4つのお堂

とろじん やしき

唐人屋敷跡には4つのお堂があります。

これらは、かつて唐人屋敷に暮らしていた唐人(中国人)たちが“心のよりどころ”として建てたもの。ノスタルジックな雰囲気を楽しみながらめぐりましょう。

とろじん どう 土神堂 / 市指定史跡

1691年創建。現在の建物は、1977年に復元されたもの。中国式の丸窓と屋根の輪郭が美しく、まるで竜宮城を思わせる佇まいが印象的。小さな石橋も風情たっぷりです。



てんこう どう 天后堂 / 市指定史跡

1736年創建。当時、命懸けで海を渡って来た唐人たちは、航海安全を祈って海の女神・媽祖を祀りました。色鮮やかな柱の装飾が素晴らしく、レンガとの組み合わせも異国情緒を漂わせています。



かんのん どう 観音堂 / 市指定史跡

1737年に建立されたと考えられています。現在の建物は1787年に再建されたもの。入口のアーチ型の石門は唐人屋敷時代のものであり、独特の趣があります。



ふっけん かい かんてん こう どう 福建会館天后堂 / 市指定有形文化財

唐人屋敷の解体後、1868年に貿易商の会所として建設。原爆により、本館が倒壊し、正門と天后堂などが現存しています。中国風と和風が併存したデザインが目を惹きます。



唐人屋敷跡で出会える神様たち

4つのお堂には、中国で古くから信仰されている道教の神様が祀られています。

金運上昇!
手を合わせれば、

とろじん 土神 / 土神堂

中国では昔から土地や家を守り、豊作、金運のご利益があるとされており、福德正神とも呼ばれています。



交通安全、
旅の安全は
おまかせあれ。



この神様!
商売繁盛なら

かんでい 関帝 / 天后堂・観音堂

三国志で有名な関羽雲長が神格化されたもの。武神としてももちろん、商売繁盛の神様としても信仰されています。



期待するは、
オールマイティな
ご利益!



かんぜおんぼさつ 観世音菩薩 / 天后堂・観音堂

仏教の代表的な神様。苦難除去、厄除け、健康など幅広いご利益があるとされています。

※諸説あります。

唐人屋敷 Q&A

知って楽しい!
唐人屋敷って
どんどこ?

Q1

そもそも
唐人屋敷って何?

A 貿易で長崎に來航した唐人たちは市中に滞在していましたが、1689年、江戸幕府は中国との貿易を管理するために、唐人たちを1ヶ所に滞在させることにしました。その場所こそが唐人屋敷です。

Q2

広さはどれくらい?

A 約9400坪。
出島のおよそ2倍の面積がありました。

Q3

どんな建物が
あったの?

A 住居や土神堂・天后堂などのお堂のほか、後期には「市店」と呼ばれる中国人による商店もつくられました。

Q4

貿易品には
どんなものがあったの?

A 中国からの輸入品は生糸や反物、薬種、香木、砂糖など。日本からの輸出品は銅、銅器、干アワビ、干ナマコ、フカヒレ、昆布、するめなどがありました。

Q5

中国人から
伝わったものは?

A 風揚げやペーロン、精霊流しや龍踊りなど、長崎の年中行事から卓袱料理や桃饅頭などの食文化にいたるまで、中国から伝わった文化は今も長崎で大切に受け継がれています。

長崎ランタンフェスティバルで

年に一度の“特別な”お堂めぐり

長崎ランタンフェスティバルは、中国の旧正月(春節)を祝うお祭り。期間中は街中が極彩色に染まり、幻想的な雰囲気に。唐人屋敷跡では「ロウソク祈願四堂巡り」が開催されます。これは4つのお堂をめぐり、ロウソクを灯して祈ると願いが叶うというもの。いつもとはひと味違うロマンチックなお堂めぐりが楽しめます。